

寒川町における地域生活支援拠点に関する調査
～緊急時の受け入れ・対応について～
ご協力のお願い

資料 7

日頃より、本町の障がい福祉行政にご理解と、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、町では、相談自立支援協議会において、障がい者の重度化や高齢化、「親亡き後」を見据え、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくために、障がい者の地域生活を支援する機能を持った拠点等の整備や仕組みについて検討を行っています。

平成 30 年度の協議会における検討の中で、特に「緊急時の受け入れや対応」と「体験の機会や場」について、対応の困難さや受け入れ先確保の課題があることが見えてきました。そこで、平成 31 年度は、この 2 点において、既存の支援機関と相互に機能を補完しながら役割を担っていくことを検討していくこととしております。

この調査は、町内に在住している障がいのある方にとって、「緊急時の受け入れや対応」と「体験の機会や場」について何が必要とされているのか具体的に把握しすることを目的とし、今後の検討に活用するものです。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成 31 年 4 月 寒川町地域自立支援協議会

対象者：障がい児者関係団体等に属する当事者及び家族

提出先：寒川町 福祉部 福祉課 障がい福祉担当 FAX 0467-74-5613

提出期限：平成 31 年 5 月 24 日(金) 寒川町福祉課必着

提出方法：直接か FAX でご提出をお願いいたします。

記入に当たっての留意事項

- ① 地域生活支援拠点の詳細については、裏面概要をご覧ください。
- ② 本調査における緊急時とは、居宅においてその介護を行う者の急病等により、介護ができなくなった場合を想定しています。
- ③ 地域生活支援拠点について、設問以外にもご意見を募集しております。その他において、自由な発想で、ご意見をお聞かせください。

問い合わせ先

寒川町福祉部福祉課障がい福祉担当

〒253-0196 寒川町宮山 1 6 5 番地

メール：fukushi@town.samukawa.kanagawa.jp

☎：0467-74-1111

FAX：0467-74-5613

地域生活支援拠点に関する調査～緊急時の受け入れ・対応について/体験の場について～

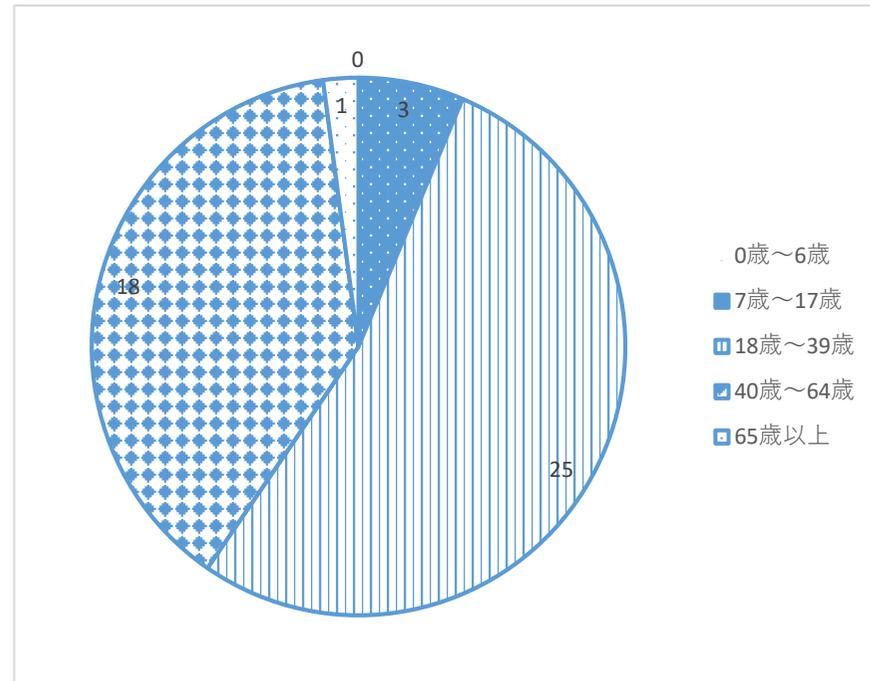
回答数	調査期間
48	2019年4月19日～6月4日

当事者ご本人について伺います。

【1】年齢について伺います。

1. 0歳～ 6歳 2. 7歳～17歳 3. 18歳～39歳 4. 40歳～64歳 5. 65歳以上

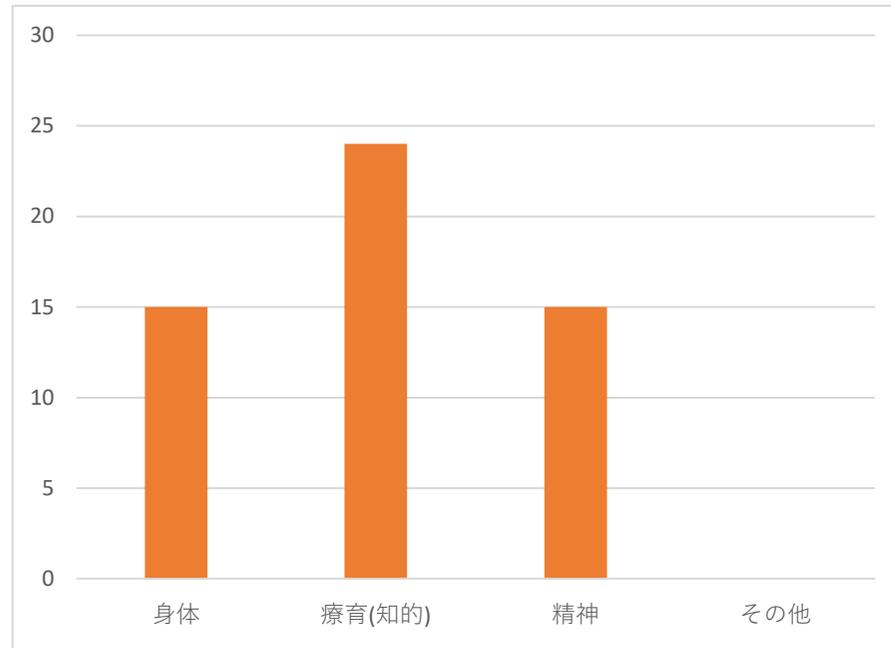
	回答数
1 0歳～6歳	0
2 7歳～17歳	3
3 18歳～39歳	25
4 40歳～64歳	18
5 65歳以上	1



【2】 障害の種別について伺います。 (複数回答有)

1. 身体 2. 療育(知的) 3. 精神 4. その他

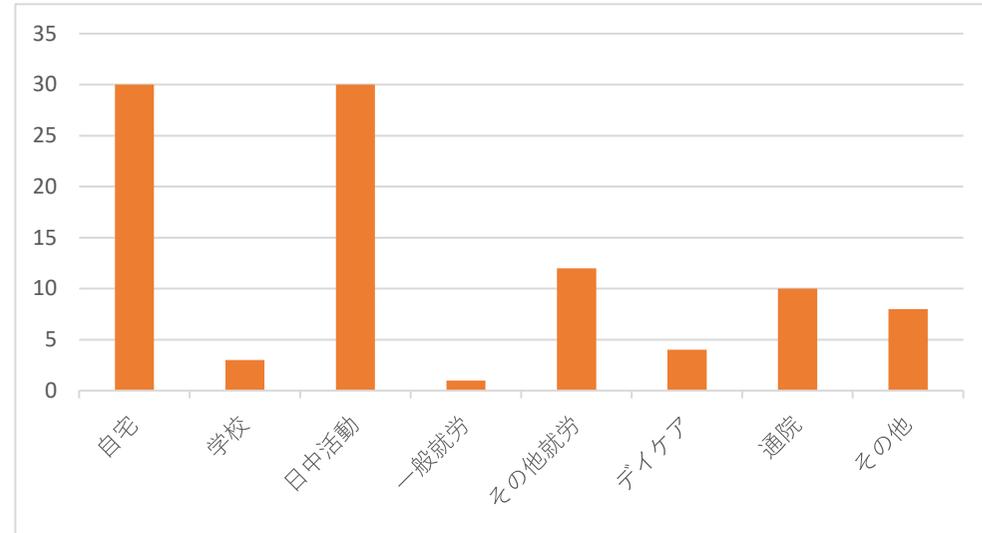
	回答数
1 身体	15
2 療育(知的)	24
3 精神	15
4 その他	0



【3】日中どのように過ごしていますか。（複数回答可）

1. 自宅 2. 学校 3. 日中活動
4. 一般就労 5. その他就労 6. デイケア
7. 通院 8. その他（ ）

	回答数
1 自宅	30
2 学校	3
3 日中活動	30
4 一般就労	1
5 その他就労	12
6 デイケア	4
7 通院	10
8 その他	8

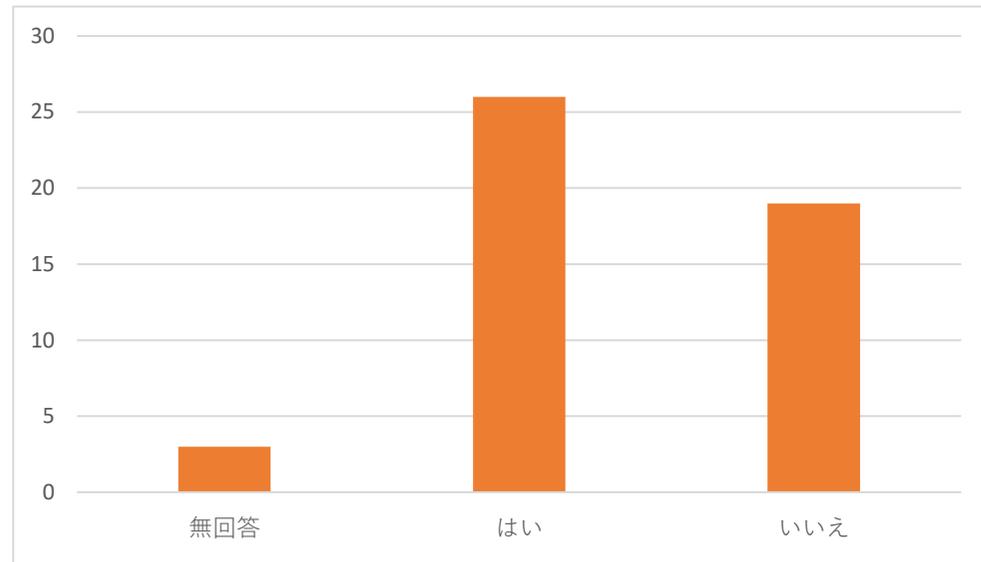


【4】緊急時に、ご本人の在宅での対応を希望しますか。

はい

いいえ（一時入所等）

	回答数
0 無回答	3
1 はい	26
2 いいえ	19



【5】その理由は何ですか。

○「はい」の理由

・生活の基盤がある・慣れない所では混乱する・落ち着かない

あまり入所したいとは考えていないから

主治医がつきそいの方が必要とのことなので

なれた自宅で介護を受けたい為

遠慮して、人に言えなくてすぐがまんをしてしまうから。

家にのみ薬があるから。

外に出るのが不安

慣れている環境が良いと考えるから。

急に知らない場所で一人で過ごす事ができない。パニック等あり。

災害に対しての理解が出来ていない。また一人では行動できない。

在宅の方がおちつく

姉と一緒に住んでいるので。
自宅以外では本人が緊張する。慣れたところでの生活を希望
住み慣れた場所にいたい。
他に同一世帯内に介護可能な人員がないため。
長期にわたって緊急対応が必要な場合は、一時入所等を検討したいが、一人で留守番等も出来るため、また、在宅での対応がよいか、一時入所等がよいのかは、本人のその時の状態による。
病院が好ましくない
病院とかが好きではないから
本人が不安になる為
本人の介助するものが限られているが、本人の生活リズムを崩したくない為
本人の生活パターンを崩したくない。食事や見守り等の支援で日中活動に参加させたい。

○「いいえ」の理由

・家族は働いていて難しい。・一人で家にいる事ができないので
家にいるよりも安心
家族がたくさんいるため。
家族の皆が不安になったりすると思うから
家族は男性三人です（本人ふくめ）、家で介護することはできません。手が必要です。
今、現在ならば、親族が近くにおりますが、10年先を考えると、親族も高齢になっていると思います。
今は、本人と親（母）が（2人）で住んでいて、別に兄弟（妹）がいるが別住所で仕事を持ち、緊急時、妹に不担がかかって働けなくなると本人生活問題その他こまることがあり。
塞ぎ込んで外に出づらくなっていく。
自宅は高齢（90代）の祖母と弟会社員なので世話できず。
身の回りの事も、自分で出来ないのでは、無理です。
生活全般に介助が有って日常生活を送っている為 家族の緊急時には、一人で在宅にての対応が難しくなります。
他の介護者（同じ住居人～家族・親族）が体力不足、また仕事のため

当事者本人が重度障がいのため常時介護が必要ですが、主介護者以外の家族は就業しているため十分な介護ができません。また、同居の家族が他人を介護者として自宅に入れる事に抵抗があるため、家族のストレス軽減のためにも一時入所が良いと思います。

任せきれの人が居ない。

本人は女性で母以外の同居する家族は男性のため介護ができません

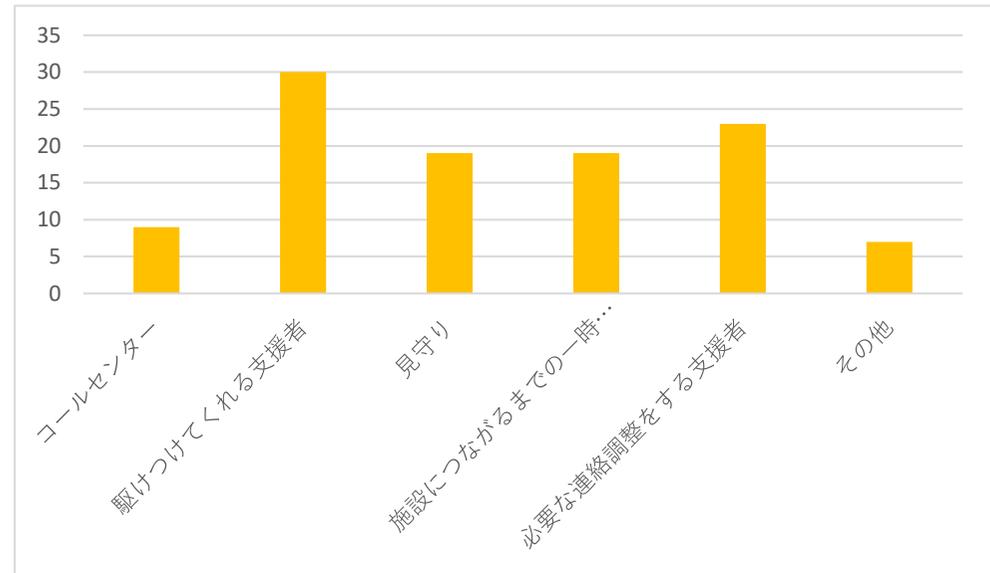
本人一人ですごすことが難しいため。・数時間等 短時間であれば、父が早めに仕事から帰り対応することも可能だが、数日以上の場合、対応が難しいため。

痙攣、パニックがひどく、私が入院してしまった場合、他の家族では対応できないと感じています。

【6】緊急時に必要と考える支援について伺います。（複数回答可）

- 1.コールセンター
- 2.駆けつけてくれる支援者
- 4.施設につながるまでの一時待機できる場所
- 5.必要な連絡調整をする支援者
- 6.その他

3.見守り



	回答数
1 コールセンター	9
2 駆けつけてくれる支援者	30
3 見守り	19
4 施設につながるまでの一時待機できる場所	19
5 必要な連絡調整をする支援者	23
6 その他	7

6 その他

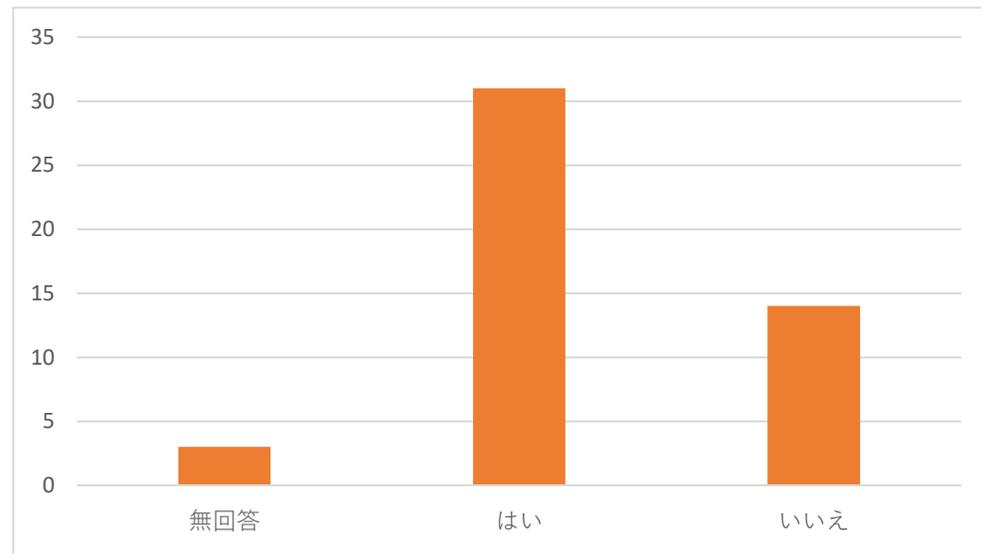
忘れることが年齢的にあるので、けやきの森病院、寒川病院のボランティアのデイケアをしてくださる人を求めています
 全部（一番必要なのは4だが、全てあった方が良い）
 主人、または母
 危険は事や状況理解が出来ない為 本人の状態（障がい特性）がわかる支援者が必要
 駆けつけてくれる支援者がいれば良いが、ヘルパーも急に来てもらうことは出来ない場合が多く、急にかけつけてくれる人も思い当たらない。
 介助不要
 看護師またはヘルパー
 障害を理解してくれる人のいる待機場所がほしい。夜に声が出てしまったりすると、健常の人と一緒にだと迷惑をかけてしまう。理解しあえる人のいる所が必要。

【7】緊急時の連絡先や、かけつけてもらえる方がありますか。

はい

いいえ

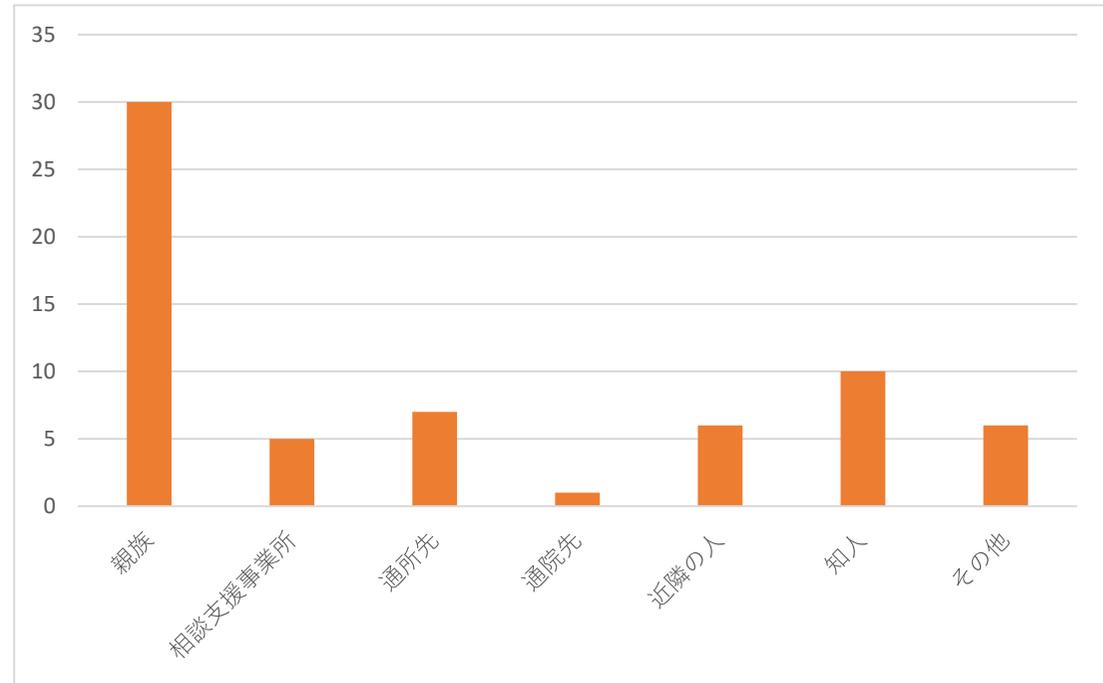
	回答数
0 無回答	3
1 はい	31
2 いいえ	14



【8】 「はい」と答えた方に伺います。それはどこですか。（複数回答可）

- 1.親族 2.相談支援事業所 3.通所先 4.通院先 5.近隣の人 6.知人
7.その他

	回答数
1 親族	30
2 相談支援事業所	5
3 通所先	7
4 通院先	1
5 近隣の人	6
6 知人	10
7 その他	6



7.その他

今では地域活動支援センターしかないので、
 本人の状況をよく理解し、対応できるか分かりません。
 現在乳幼児が居る為今すぐは難しい。祖父母が居るが高齢の為不安。
 主人、または母
 薬局（薬剤師）
 日中であれば相談支援事業所や通所先だが結局身内に頼るしかない

体験(練習)の機会や場について伺います。

【9】 グループホームや一人暮らしをするにあたって、どんな体験(練習)が必要だとお考えですか。

(複数回答可)

《暮らしの場の体験》

- 1.グループホーム(体験) 2.短期利用できるアパート

《日常生活の体験》

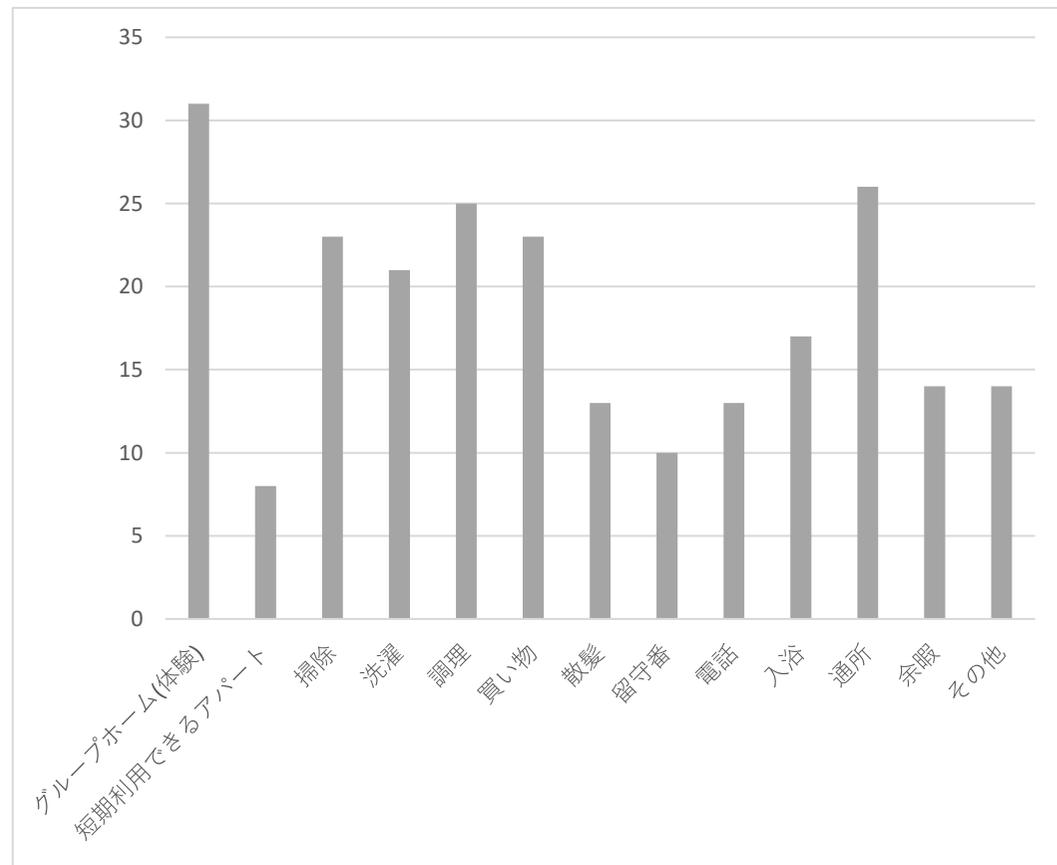
- 3.掃除 4.洗濯 5.調理 6.買い物 7.散髪
8.留守番 9.電話 10.入浴

《日中活動の体験》

- 11.通所 12.余暇

《その他》

	回答数
1 グループホーム(体験)	31
2 短期利用できるアパート	8
3 掃除	23
4 洗濯	21
5 調理	25
6 買い物	23
7 散髪	13
8 留守番	10
9 電話	13
10 入浴	17
11 通所	26
12 余暇	14
13 その他	14



13 その他

職場見学・職場体験

私の場合、掃除、洗濯、調理を弟が昼間うるさいので大変、犬がいる。

通院 継続的に通院している医療機関へ、自宅以外の場所から家族以外の介護者と通院、受診する体験

今現在では本人が余り希望しない。

本人が無理せず出来る事 現在も入道雲とつつみ苑を1か月交代で3泊4日預けている（何かあった時に慣れておくことが大切なため）

何かあった時に、安心して相談できる関係を築き、継続していける場所の確保。

お金の管理

親子で宿泊体験、作業所内で気が合いそうな人たちと宿泊体験は必要だと思う。グループホーム等はリラックスする場なので気が合う仲間同士が望ましい。

日中全部自分で行っています。

長時間、留守番をさせたことがないので、一人暮らしは、考えられない。24時間、見守りは可能ですか？グループホーム、アパートでの24時間見守りができるのであれば、安心して体験させられる。

自宅以外での生活となった時 日中活動先への移動手段に不安がある 又グループホームや一人暮らしをする上で地域の方がいかに理解し受け入れてくれるのが一番の不安。

本人は医療的ケアが必要であるため、グループホーム、アパートですごすことは現実的でない。

リハビリ施設の利用（七沢リハビリテーション病院）

今家族と一緒に暮らしている。これからも家族と一緒に暮らしたい。

【10】 その他、地域生活支援拠点に関して、ご意見等ございましたら、ご記入ください。

必要な機能 【6】 1～5は寒川町にはないものばかり。町外に頼る事しかできない現状を改善し、町内に新たに建物を建てたり開拓したりしなければ現実的に何も動かない。言葉で訴えられない本人や耐える家族の実情を受け止め、早急に手当てをしてほしい。

拠点というのがすでにある施設を活用するのか、新しい施設を1から造るのがよくわからないが、後者であればデザインも大切にしてほしい。規模もわからないが、緑の多い広めの公園のような庭、施設内は天井は高め、開けた共有スペースにカフェのようなカウンターがあるなど、ある種の「おしゃれ」な空間作りをすることで、利用者さんの自己肯定感を支える一助になれば。バリアフリーは言うまでもなく。「インクルーシブデザイン」という言葉を最近聞くが、寒川にもそのような施設を一つドン！と建ててみて、まずは障害者の方々に利用していただくのもいいかと思う。そのようなものを建てられる土地があるかわからないし、そもそもそのような予算が多く投入される規模の計画ではないかも知れませんが、寒川町には神社以外目立ったものは正直ないので、福祉にこのように力を入れることで「高座のころ。」を体現していつてみてはいかがでしょうか。

資源ごみやごみ（その他の処理）するのにくわしい方、体調もお互い（私くしと相方）に関してよく話しを詳しくできる人を探しています。また、栄養管理（食事に関して）良く詳しく話せる人を求めています。

これからも住みなれた地域で生活してほしいので寒川町に障害者が暮らせるグループホームを増やして欲しいと願っています。

多様化、深刻化する障がい者と家族、関係者の相談に対応できる基幹相談支援センターの設置をお願いいたします。障がいの種類を問わず、こどもから高齢の障がい者まで幅広い相談にワンストップで対応できる機関が必要だと思います。

以前、大腸検査を受けた時にポリープが見つかったら1泊になると言われ、その日にすぐに預けることは難しいため、ショート予約を取ってから検査を受けた。何かあった時にすぐお願いできる場所が本当に必要と思っている。行政が考えてくれていることがわかり、ありがたいと思っています。安心できます。

町内に短期入所できる場所がないので それを含めて福祉センターができると良いと思います。つくしの家の前の道路がとても危険なので整備してほしいと思います。

我が家も最近「親亡き後」の自分の生活に対しての不安を頻繁に口にだすようになってきました。現在は作業所に通い、職員さん達に理解してもらいながら日中の生活を送っていますが、一人になった時や日常的な困り事（電気器具が作動しなくなったとか些細な事etc.）でパニックになる事があります。そのような時の連絡、受け入れ体制の整備で”安心”させてあげられたらと望んでいます。

親が高令になってきて、家族が少ないので緊急の時の対応を考えると早くに支援検討をお願いします。

交通事故にあわないように気をつけてあげてほしい。

町内に同じ障害の人同士（親）のつながりがなく孤立している。もし連絡等の情報が得られたとしても、仲良くできるか自信がない。作業所の父母会はあるが、うまく機能していなくて困っている。

現在町内におけるショートステイの場所が無い為 緊急時に対応して（24時間対応）受入れ先まで送迎等すべてを町外に求める対応を是非町内で対応できる場所の確保を要望したいです。

住み慣れた地域で安心して暮らせるのが、一番いいのですが、重度の方がひとりぼっちで長時間、自宅、グループホームにいることには不安があります。24時間対応できる医療型介護施設が近くにあれば、利用しやすいと思う。ちなみに湘南東部福祉圏域に医療型介護施設は、ありません。自宅にいて、24時間対応ができるのであれば一番いいです。

町での24時間体制（出来るだけ）の窓口（相談受け入れ先の紹介等）

自立をするにあたり、体験の機会や場が何度か経験できると良いです。（適応するのに時間がかかる為）

日中時間であれば連絡がつきやすいが緊急時は時間にとわれずある為対応出来る（連絡調整）場所がどこなかわからに。本人の知らない地域での暮らしになった時 現在の安定した状態が悪化する可能性もあることが大きな不安になっている。町に拠点があると良い。

普段から本人が通い顔見知りになれるような関係が築けることが希望です。

緊急の意味が違ってしまいますが（聴覚の場合、緊急対応等をさします）。メール等ができれば良いのですが、使えない③者は助けを呼ぶことができません。○助けや支援者が来ても、手話ができなければ、伝えたいことが伝わりません。○緊急時での手話対応の整備（救急車対応はできているが、それ以外の緊急は自分で探す→メールで探すことができない人もいます）の充実をお願いします。◎地域で暮らすにあたり、コミュニケーションがとれないことが大きな壁となっています。

このアンケートについて、障害を一つのくくりではなく種別を記入する方式でないと、とても困る。これでは統計が取れない印象。何の障害の人に何人聞いたかで偏りが生じるアンケートで内容が不備である。